

箱を開けてから本装置が使えるようになるまでの手順を説明します。このスタートアップガイドに従って作業してください。

## はじめに

梱包箱を開け、添付品がそろっていることを確認してください。



添付の「構成品表」を参照してください。



添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMやその他のディスクは、セットアップ(または再セットアップ)の時に必要となりますので大切に保管しておいてください。また、事前に「EXPRESSBUILDER」内にある「ユーザーズガイド」を印刷して、本書と合わせて参照しておくことをお勧めします(裏面の「オンラインドキュメント」を参照してください)。

## ブレード収納ユニット

ブレード収納ユニットは、CPUブレードや電源ユニットなどを搭載する専用のケースです。ブレード収納ユニットは、NECのラックまたはEIA規格に準拠したNECが推奨するラックへ搭載します。



詳しくはブレード収納ユニットに添付の「ユーザーズガイド」を参照してください。

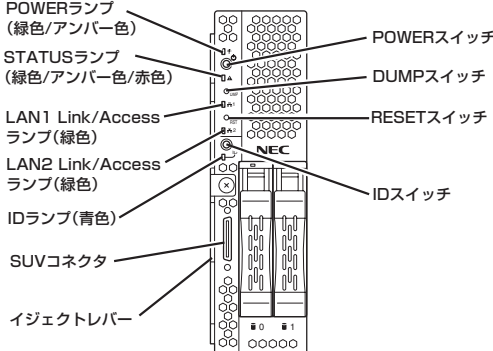
## CPUブレード

CPUブレードにはメモリやプロセッサ(CPU)、ハードディスクドライブ、拡張ボードなどのオプション品を取り付けることができます。



オプション品については「EXPRESSBUILDER」CD-ROMに格納されている「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」を参照してください。

各部の名称

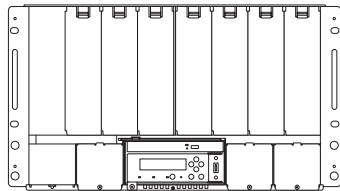


すべてのCPUブレードが実装されていない状態でブレード収納ユニットをラックに装着してからCPUブレードの取り付けを行ってください。

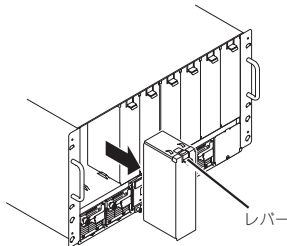


詳しくは、「EXPRESSBUILDER」CD-ROMに格納されている「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」、ブレード収納ユニットのユーザーズガイドを参照してください。

<CPUブレードの取り付け手順>



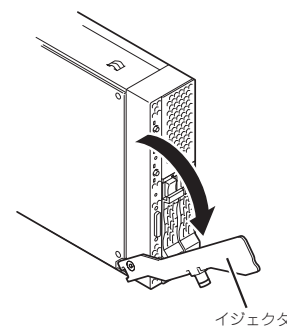
- ① 本装置を取り付けるスロットにオプションのブラנקカバーが取り付けられている場合は、前面にあるレバーをつまんでロックを外し、引き出してブラנקカバーを取り外す。



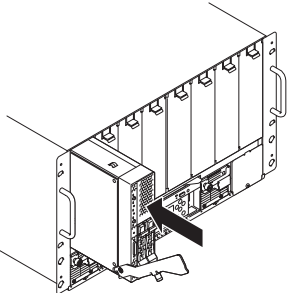
- 取り外したブラנקカバーは大切に保管しておいてください。
- 本装置を取り付けるスロット以外のブラנקカバーを取り外さないでください。

右上につづく

- ② 本体をほこりのない、丈夫で平らな机の上に静かに置き、イジェクタのネジをゆるめ、イジェクタを開ける状態にする。

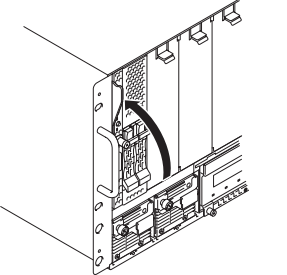


- ③ ハードディスクドライブ実装面を右にし、MP接続用コネクタがブレード収納ユニット側になるようにして、本体のフレームをしっかり持つ。

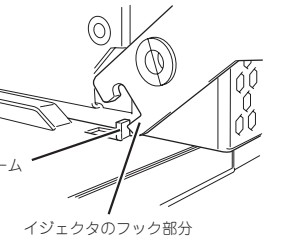


CPUブレードをブレード収納ユニットに取り付ける際は、イジェクタを持たないでください。イジェクタが外れて装置が落下したり、イジェクタが曲がって装置が破損してしまったりする恐れがあります。

- ④ 本体のフレームをブレード収納ユニットのガイドレールに合わせてゆっくりと正しい位置にブレード収納ユニットの奥まで差し込む。



イジェクタのフック部分が図のようにブレード収納ユニットのフレームに当たっていることを確認してください。

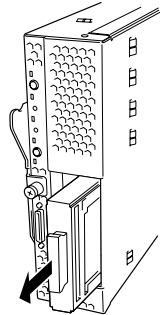


- ⑤ イジェクタをしっかり押し込み、本体前面のフレーム部分を指で押し、イジェクタのネジを締めてCPUブレードを固定する。

## ハードディスク

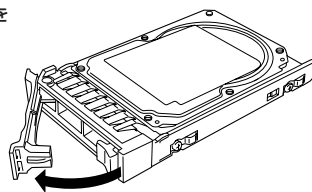
CPUブレード1枚に対して2台接続することができます。市販のハードディスクを搭載することはできません。本装置専用のハードディスクを購入してください。

- ① ハードディスクドライブを取り付けるスロットにダミートレーが取り付けられている場合は、ダミートレーを取り出す。

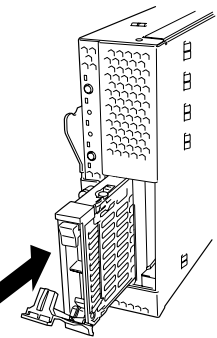


取り外したダミートレーは大切に保管しておいてください。

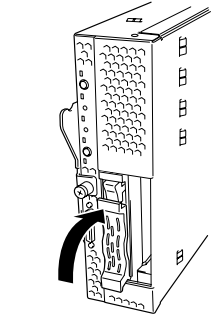
- ② ハードディスクドライブのレバーのロックを解除し、ハンドルを開いた状態にする。



- ③ ハードディスクドライブのBPコネクタをCPUブレード側に、またドライブキャリア前面のレバーが上側に向くようにして持つ。



- ④ ドライブキャリアの端を増設するハードディスクドライブスロットにゆっくりと正しい位置に差し込む。



- ⑤ ドライブキャリアを突き当たるまで差し込んだら、レバーを持ち上げる。「カチッ」と音がしてロックされます。

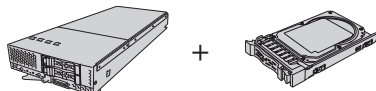


レバーのフックがフレームに引っ掛かっていることを確認してください。

## 購入時のモデル(状態)について

本製品は、お客様のご注文の内容により、次の2つのモデルに分かれます。モデルによって電源ONからのセットアップの方法が異なります。購入時のモデルによってこの後の説明を読み分けてください。

カスタムインストールモデル



ハードディスクには、Windows Server 2003 x64 Editions日本語版または、Windows Server 2003日本語版とオーダーされたソフトウェアがインストール済みです。

ディスクレスモデル



ハードディスクやオペレーティングシステムなどは別途購入してください。

## 各種オプションの取り付け

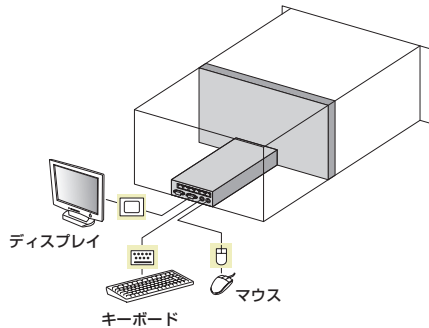
CPUブレードの動作に必要なオプションやブレード収納ユニット用の各種オプションを実装してください。



詳しくはブレード収納ユニットに添付の「ユーザーズガイド」を参照してください。

## ケーブルの接続 ～セットアップを始める前に～

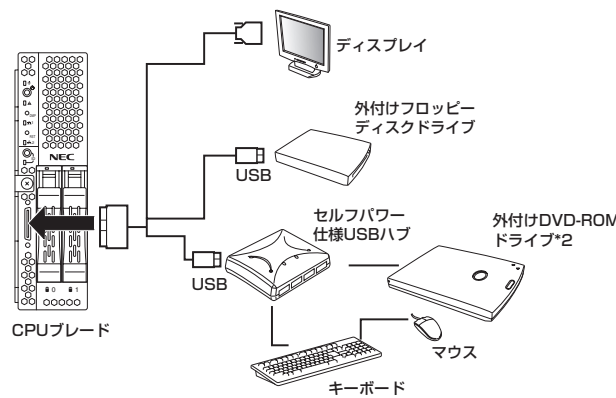
キーボード、マウス、ディスプレイとの接続や、ネットワークなどの機器には、本体背面にあるMP接続用コネクタと接続されるブレード収納ユニットのボードを経由して、それぞれに接続されたデバイス/周辺機器と接続します。



また、本体装置前面にあるSUVコネクタは日常の運用をする際に使用するものではありません。SUVコネクタは次の場合に使用します。

- OSインストールを行う場合(\*1)
- 保守作業を行う場合
- BIOS/各種FWのアップデートを行う場合

SUVコネクタにK410-150(00)SUVケーブル(ブレード収納ユニット(SIGMABLADE)に添付、もしくは、別売)を接続し、SUVケーブルの先に付いてあるコネクタに各デバイスを接続します。



- \*1 本装置をブレード収納ユニット(SIGMABLADE-H)に搭載した場合のみ。  
\*2 N8460-009外付DVD-ROMセットを使用する場合は、外付DVD-ROMセットに添付されている二股USBインタフェースケーブルを使用してください。



詳しくは、「EXPRESSBUILDER」CD-ROMに格納されている「ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」、ブレード収納ユニットのユーザーズガイドを参照してください。

最後に電源ユニットに添付の電源コードを本体背面にある電源ユニットのACインレットとAC100VまたはAC200Vのコンセントに接続します。



N8405-017/023電源ユニットに添付の電源コードはAC200V専用です。また、N8405-039電源ユニットに添付の電源コードはAC100V専用です。それ以外の電圧のコンセントには接続しないでください。



裏面に続く



